

平成19年度第1回金沢市廃棄物総合対策審議会会議録

【事務局】

ただ今から、平成19年度金沢市廃棄物総合対策審議会を開催いたします。
本日はお忙しい中、また、お足元の悪い中、お集まりいただき厚くお礼申し上げます。
それでは、開催にあたり須野原副市長よりご挨拶申し上げます。

【副市長】

みなさまお忙しい中、廃棄物総合対策審議会にご出席いただきありがとうございます。
日頃より本市環境行政にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり、この審議会は、本市の廃棄物行政全般にわたってご審議をいただく諮問機関でございます。本日から新たにお越し頂いた委員の方も何人かいらっしゃいます。
どうぞご協力をお願いいたします。

これから最も大事なテーマというのが、環境問題だろうと思っておりますし、『よい環境づくりなくして、よいまちづくりはできない』と考えております。

今年7月に、北海道洞爺湖サミットが開催されます。このサミットにつきましても、温暖化対策など環境問題が最も大事なテーマの一つになると聞いております。金沢市におきましても、これまで積極的に環境対策に取り組んでおるところでございます。

今日は、一般廃棄物処理計画に係る平成20年度の実施計画でありますとか、ごみ処理施設の西部クリーンセンターの新しい建設計画、それから次期の廃棄物埋立場の建設計画について進捗状況を報告させていただきたいと思っておりますし、災害廃棄物の処理計画の概要などにつきましてもご説明させていただいて、皆様方にご審議をいただきたくよろしくお願ひします。

【事務局】

副市長は、この後所用がありますので、ここで退席させていただきます。

今回、新たに6名の方が委員に就任されています。皆様方のお手元に委員名簿をお配りしてありますのでご覧下さい。名簿に(新)と記載されている方が新たな委員になります。

なお、今回は金沢学院短期大学の河内委員、北陸大学の山本委員、金沢商工会議所の西盛委員、金沢市町会連合会会長の鶴山委員、石川県スーパーマーケット連絡協議会の松川委員、石川県環境部長の稲手委員が欠席であります。金沢市一般廃棄物事業協同組合理事長の高山委員につきましては、小林専務理事が代理出席となっております。また、今回の審議会より知識経験者の選出区分として北陸税理士会から1名、市民公募委員の選出区分として2名の委員に参加していただいております。

続きまして、本審議会の会長の選出をお願いしたいと思います。本市の『廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例』の規定では、委員の互選により本審議会の会長を選任するとなっております。どなたかご適任の方を推薦していただけないでしょうか。

【委員】

小森委員を推薦します。

【事務局】

ただいま、小森委員との推薦がありました。皆様いかがでしょうか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

それでは、小森委員に会長をお願いいたします。小森会長、ご挨拶をお願いします。

【会長】

小森でございます。引き続き会長を仰せつかりました。

須野原副市長からもお話がありましたが、今日はお手元の資料のとおり、5件報告がございます。これは、審議の対象ではございませんが、報告の中でご質問があれば事務局の方からお答えしますし、私も関与していた部分がありましたので、その点になれば、ご質問を私の方でも答えることができます。

よろしくお取りはからいの方お願いしたいと思います。

【事務局】

それでは、これからの議事の進行は小森会長にお願いしたいと思います。
小森会長どうぞよろしくお願ひいたします。

【会長】

本日の議事は報告が5件ですが、報告1件につき、その都度質疑応答という形を取りたいと思います。

それでは、最初の報告事項『一般廃棄物処理計画に係る平成20年度実施計画』について、事務局から説明をお願いします。

(別紙 資料1「一般廃棄物処理計画に係る平成20年度実施計画について」で説明)

【会長】

ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。

【委員】

ごみの収集を一部委託しているとのことですが、何割ぐらい委託しているのでしょうか。また、委託する理由は、市の職員が少ないからですか、それとも委託の方が経費削減につながるからでしょうか。

【事務局】

全体で4割委託しております。

委託する理由は、本市の行政改革の一環です。職員の削減にあわせて民間委託を進め、収集コストの削減や効率化を図っております。

【会長】

ほかに何かご質問などありませんでしょうか。

【委員】

ごみの発生量が減少することは良いことだが、減少すると見込んだ理由は何でしょうか。

【事務局】

平成18年度から19年度を比較しますと減少傾向となっております。その原因は、発生抑制やリユース施策の成果だと考えております。

【事務局】

どこの都市でも全体的に減少しています。一つは、人口の減少、もう一つは、4年前から始めている『53ダイエットネットワーク』というキャンペーンの成果もあると思います。この施策がうまくいけば、金沢市の場合、一日当たり24から25tごみを減らせます。

この、『53ダイエットネットワーク』ですが、昨年度から新たに『学生リユース市』

という施策も始めました。これは、学生の引っ越し時期に多くのごみが出ることから、電化製品などをリユースする目的で金沢大学で開催しております。昨年度は、約180台がリユースされました。一日で、これだけの量がリユースされたのですから効果は大きいと思います。

なお、今年は3月8日に開催する予定です。

【委員】

今年の開催日は、後期試験の発表前なので学生に不公平が生じませんか。

【事務局】

後期試験の発表後がよかったのかもかもしれませんが、大学の方では、運営を学生が行っていることから、日程も学生の方で決めており、大学側の予定に合わせておりますが・・・

【委員】

開催は、金沢大学だけで行っているのですか。学生のうち金沢大学の割合はどのくらいですか。

【事務局】

現在実施しているのは、金沢大学だけで、学生の割合は52%です。今後は、別の場所でも開催したいと考えております。

【会長】

ほかにご意見やご質問はございませんか。

では、次の報告事項として『廃棄物処理施設の整備』について、事務局から説明をお願いします。

(別紙 資料2「廃棄物処理施設の整備について」で説明)

【会長】

ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。

【委員】

規制された4品目は、どこで処分されるのですか。

【事務局】

民間の最終処分場やリサイクル施設で処理・処分されています。市内に10箇所ほど施設があります。木くずなどは、破碎してリサイクルされています。

【委員】

サシバは、何カ所ぐらい確認されているのか。

【事務局】

営巣が確認されたのは一箇所だけです。

【委員】

レッドデータに記載されている鳥なので、しばらく観察しなければならないですね。植物の方は、問題ないですか。

【事務局】

植物の方は、特に問題ありません。

【委員】

西部クリーンセンターの建て替えですが、古くなったから建て替えるのですか。それとも、性能をよくするためですか。また、新しい施設完成後は、現在の施設を解体するのですか。

【事務局】

建て替えの理由は両方です。また、旧施設は、維持費の削減や法人情報保護の問題もあり、新施設完成後に解体します。

【委員】

焼却施設の性能が上がれば、今までは焼却できないために埋立処分していた物が焼却できるようになるなど、ごみの分別方法も変わるのですか。

【事務局】

おそらく、東京が4月から実施するプラスチックの焼却を想像されていると思われますが、焼却性能が上がったことが理由で、ごみの分別を変えることは考えておりません。ただ、汚れている容プラは、感染症など衛生面も考えて、今後は焼却する方向で検討していく必要があると思います。

【会長】

他に質問やご意見はないでしょうか。ないようでしたら、次の報告事項として『株式会社金沢環境サービス公社の決算』について、事務局から説明をお願いします。

(別紙 資料3「株式会社金沢環境サービス公社の決算について」で説明)

【会長】

ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。

し尿の汲み取りは、過去6年間ずっと赤字ですね。汲み取り戸数はどんどん減っていき、最小限のところが残るのでしょうか、効率の悪いところばかりで採算は合わないでしょう。今後は、受益者負担の原則に基づいて、料金改定も考えていく必要があります。

一方、公社独自事業は、今年度は赤字ですが黒字の時もあるわけですから、もっと公社で工夫してほしいと思います。

【委員】

赤字が増えてくれば、市に対して補助金支援の話が出てくると思います。市としても、「会社をやめたい」と申し出られると困るので、補助要請の話は断れないのでは・・・

【会長】

株式参加と経営に助成資金を出すというのは、まったく別の話です。一企業の赤字対策の助成に公的な資金を使うことはいかがなものか。経営が行き詰まった場合には、近隣の同業者と合併するなど方法がいろいろとあります。市が全てを背負う必要はないと思います。

他に質問やご意見はないでしょうか。ないようでしたら、続きまして『災害廃棄物処理計画の策定』について、事務局から説明をお願いします。

(別紙 資料4「災害廃棄物処理計画の策定について」で説明)

【会長】

ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお願いします。

【委員】

石綿対策はどうなっているのか。相当量が発生すると思われる。倒壊場所ではむき出しになっているでしょうし、仮置場に運搬した後も飛散する。広大な場所を覆っておくこともできないでしょう。そもそも、震災が起こった時点で舞い上がってしまうので、石綿対策を考慮する必要があると思います。

【事務局】

アスベストを使用している建築物を、事前に調査しておく必要があるかもしれません。実態把握は相当難しいとは思いますが・・・

【委員】

昭和30年代から50年代に建設した建物は、一般的にアスベストを使用していると考えた方がよい。

【会長】

委員からアスベストについて意見がありましたが、ほかにも危険なものがあれば、あわせて対策を取っておく必要があります。

可能であれば、現在使用している建物から事前にアスベストを撤去することを考えた方がよい。しかし、市の方から撤去を促すと費用を助成するよう求められるかもしれない。

アスベストの問題は、大変危険な話ですし、大きな話ですので、今回の計画とは別に考えていただきたい。

【委員】

仮設トイレは確保できるのでしょうか。

【事務局】

現在保管している数で足りなければ、ほかの自治体や民間から借りることを想定しています。

【会長】

東海北陸ブロックで連携して相互支援を行うことになっています。実際に災害が発生した場合は、近隣の富山市や福井市などからも協力を仰ぐことになると思います。

そのほか、みなさんご意見やご質問はございませんか。なければ次の案件に移りたいと思います。

【委員】

異議なし。

【会長】

では、次の報告事項として『スプレー缶・カセットボンベの収集日の変更』について、事務局から説明をお願いします。

(別紙 資料5「スプレー缶・カセットボンベの収集日の変更について」で説明)

【会長】

ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。

変更理由は、収集車両の火災ですが、爆発などで死亡事故につながることもあるので、パッカー車で収集はしないほうがよいと思います。

ご意見、ご質問はありませんでしょうか。

以上で本日の議題につきましては、すべて終了いたしました。議題以外に何か質問などございませんか。

【委員】

我々が新しい要望や提案などを行うには、開催時期が遅いのではないかと。今からでは、次年度の予算に反映させることができない。

【会長】

要望や提案をしても、すぐに予算に反映させ実行するというものではないと思います。要望や提案に対しては、実態を把握することが第一で、十分に調査・検討を行い、その結果、実施もしくは試行的に導入することもあります。試行的に行う場合や本格実施するという段階になった時は、9月頃に開催し、予算に反映させればよいのではないのでしょうか。

ですから、開催時期に関係なく提案していただきたいと思います。

【事務局】

来年度の実施計画について報告する関係で、毎年2月の下旬に開催しています。その他に、重要な案件、たとえば手数料の改定やごみ処理基本計画を策定する年などは、9月～10月くらいにも開催し、審議を行っていただいたり、諮問したりしています。

【会長】

ほかに質問がなければ、この辺で審議会を締めさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【会長】

今日は、報告事項が5件ありましたが、その中でアスベストの問題が提言されました。この件は、じっくり事務局で検討していかなければならない問題です。あらためてこの件については、本審議会で議論させていただくことになるかもしれません。それでは、これをもちまして、平成19年度金沢市廃棄物総合対策審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

補：本審議会は、「金沢市情報公開及び個人情報保護に関する条例」第7条に基づき「情報公開」の会議であることを申し添えます。

金沢市廃棄物総合対策審議会 会長 小森 友明